

## (25) リサイクルプラザ

## 1) 施設概要

## ① 施設一覧

本市では、市内から排出される一般廃棄物の処理、減量及び資源化を図るため、リサイクルプラザを設置しています。

リサイクルプラザには、リサイクルハウスとプラザハウスがあります。

リサイクルハウスでは、空き缶・ペットボトル・空きびんの3つの処理ラインを持ち、効率的な処理と高い選別機能で資源の有効利用を可能にしています。また、ごみの収集・運搬・処理を行っています。

プラザハウスは、ごみ減量を啓発するための施設です。リサイクルハウスの見学や体験教室の参加を通じて「リサイクル」への理解を深めることができます。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	備考
1 リサイクルプラザ	小牧市大字大草5786番地83	5,088.7	平成15	鉄骨造	
リサイクルハウス		3,966.9			リサイクルハウス・車庫
プラザハウス		1,121.7			プラザハウス

## ② 事業内容

リサイクルハウスでは、主に資源の有効利用やごみの収集・運搬・処理を行っています。プラザハウスでは、主にリサイクルハウスの見学や体験教室、リサイクル品等の情報提供をしています。

## &lt;事業内容&gt;

## ■ リサイクルハウス

- ・ごみの収集、運搬、処理及び集積場に関すること
- ・犬、猫等の死体の処理に関すること
- ・資源の選別等中間処理に関すること
- ・粗大ごみのリサイクルに関すること

## ■ プラザハウス

- ・リサイクルの啓発及び推進に関すること
- ・リサイクルに係る体験活動に関すること

## ③ 開館時間等

	開館時間	休館日
リサイクルハウス	午前8時30分から午後5時15分まで	土曜日、日曜日、国民の休日 年末年始(12月29日～1月3日)
プラザハウス	午前8時30分から午後5時15分まで	月曜日、ただし月曜日が祝日の場合は、その日以後の最も近い平日 年末年始(12月29日～1月3日)

#### ④ 利用方法及び使用料（プラザハウス）

入館は誰でもできます。

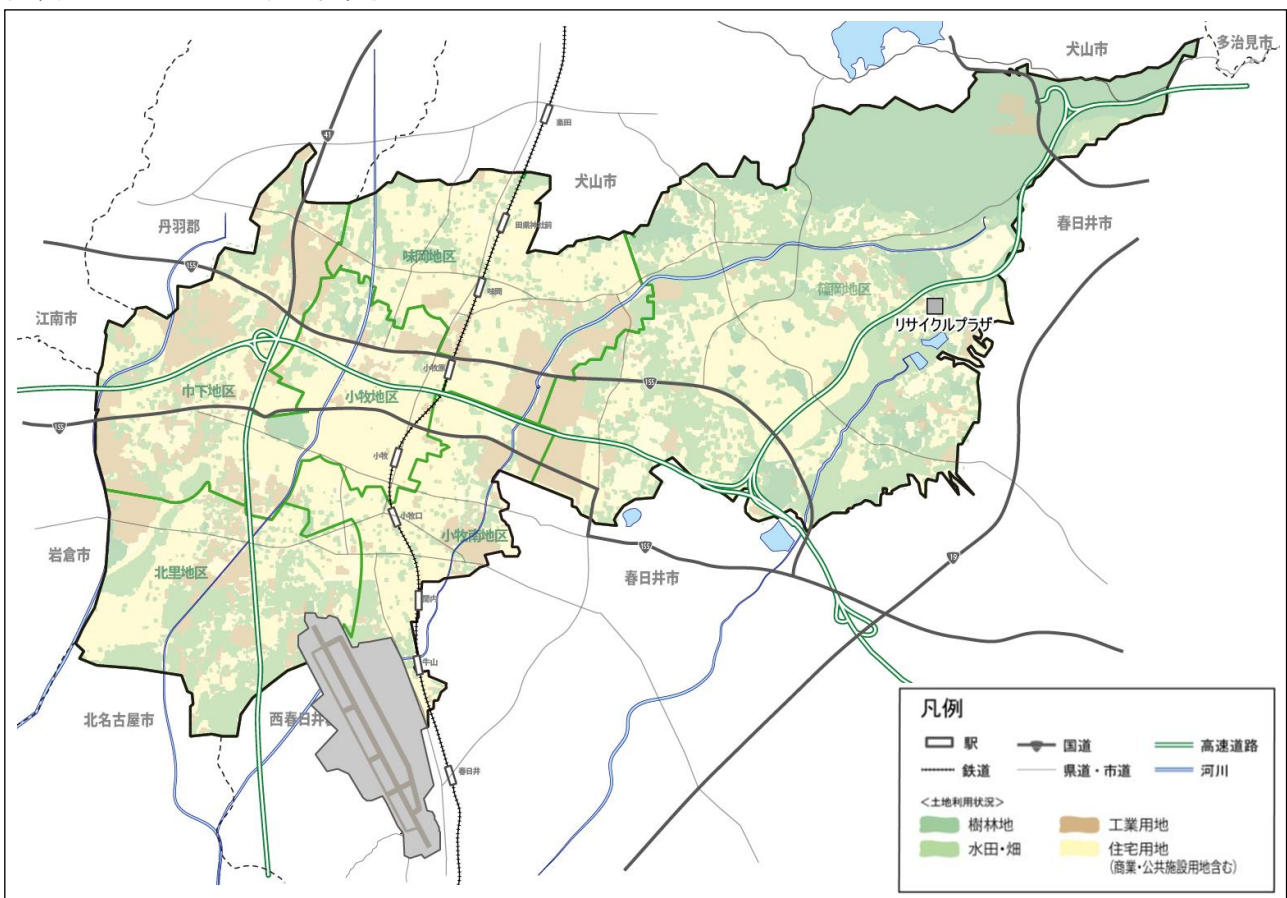
- ・常設教室、団体申込みによる見学及び体験は、市外の方も利用できますが、その内容により、参加対象年齢が5歳以上、小学4年生以上と異なります。
- ・特別体験教室、定期体験教室は、小牧市在住・在勤・在学の方が対象で、各講座ごとに対象年齢が5歳以上、小学4年生以上、中学生以上とそれぞれ異なります。
- ・講座受講料は無料ですが、一部、材料費をいただく場合があります。

<申込>

- ・団体申込みによる見学及び体験は、3ヶ月前から10日前までに予約をすることになっています。
- ・常設教室は、当日、本人の窓口申込みとなります。（時間指定有り）
- ・特別体験教室は、3ヶ月毎に講座が決まり、講座開始月（4、7、10、1月）の1ヶ月前から申込みを受付けます。
- ・定期体験教室は、講座の10日前まで申込みを受付けます。
- ・各申込みは、窓口、はがき、FAX、Eメール、エコハウス・小牧のホームページでできます。

#### ⑤ 配置状況

図表 リサイクルプラザ位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ リサイクルプラザの建物総合評価結果

平成 25 年度のリサイクルプラザの建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		① 耐震化	② 老朽化			③ バリアフリー対応					④ 環境対応			⑤ 維持管理(H24年度)								
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費(千円)	床面積当たり(円/㎡)		光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費
1	リサイクルプラザ	平成15	5,089	—	10		10	○	○	×	○	○	○	○	×	○	7,642	22,697	21,810	1,502	4,460	4,286		

①、③、④ の記載例	実施済み：○	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
	未実施：×	
	不要：—	

リサイクルプラザは、特に問題がない施設です。(パターンE)

評 価	パターンE) 問題なし
	・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)
該当施設	該当施設 建築年度 リサイクルプラザ 平成15 < 1 施設 >
コ メ ン ト	—

## ② コスト状況

リサイクルプラザの年間トータルコストは、7億2,551万円です。

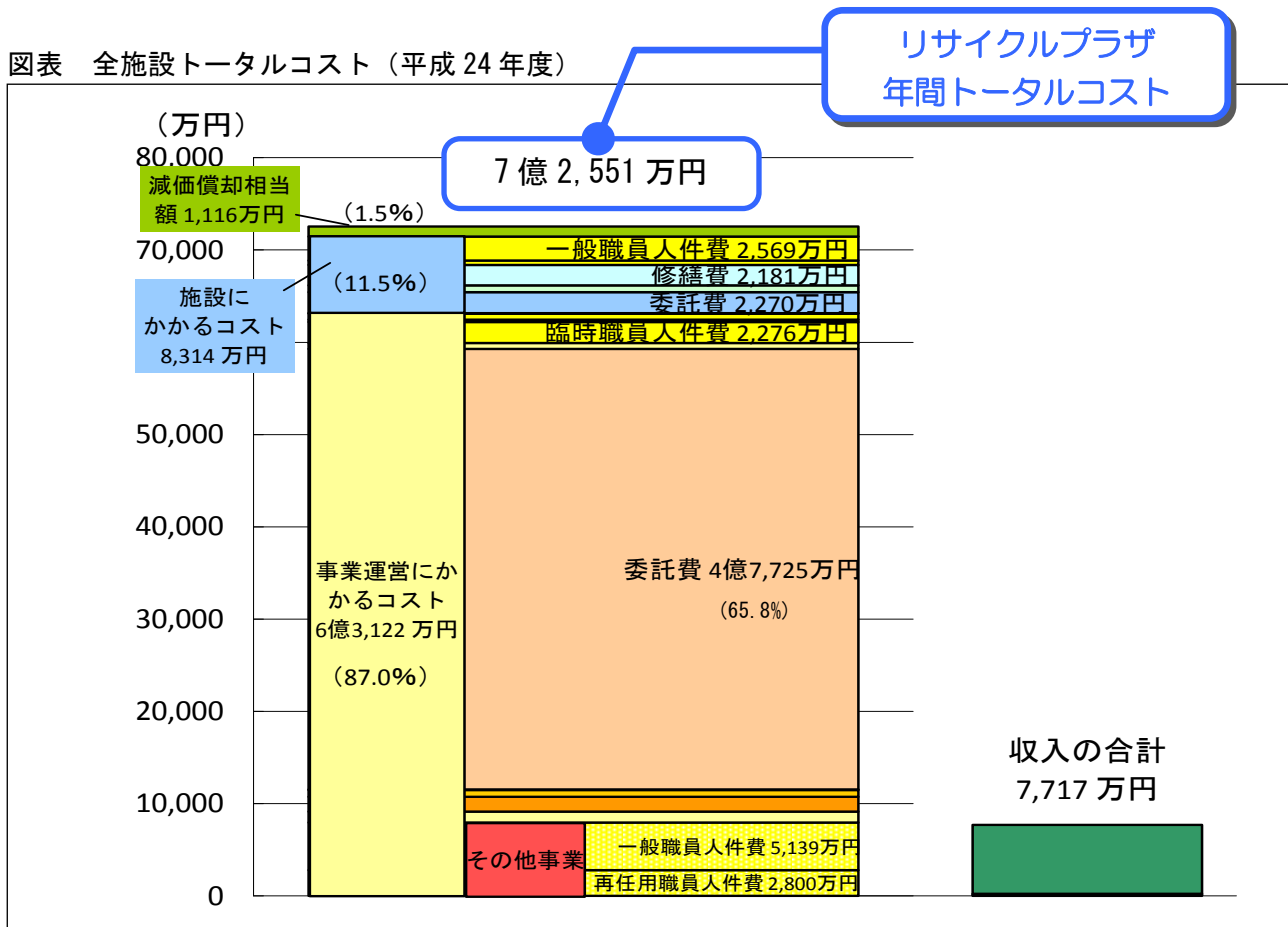
年間トータルコストのうち、施設にかかるコストは8,314万円(12%)、事業運営にかかるコストは6億3,122万円(87%)、減価償却相当額が1,116万円となっています。

図表 施設別 市の行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		リサイクルプラザ	
施設にかか るコスト	一般職員人件費	25,693,053	
	再任用職員人件費	5,090,210	
	修繕費	21,810,155	
	光熱水費	7,642,372	
	委託費	22,697,384	
	使用料及び賃借料	202,944	
	施設にかかるコスト	83,136,118	
事業運 営にか かる コスト	事業運 営	嘱託職員人件費	6,653,202
		再任用職員人件費	2,545,105
		臨時職員人件費	22,763,665
		修繕費	6,472,851
		委託費	477,246,630
		使用料及び賃借料	799,407
		車両・備品購入費	7,338,315
		負担金補助及び交付金	15,936,759
		その他物件費	12,082,663
		事業運営	551,838,597
	その他 事業	一般職員人件費	51,386,105
		再任用職員人件費	27,996,156
		その他事業	79,382,261
	事業運営にかかるコスト		631,220,858
現金収支を伴うコスト 計		714,356,976	
【収入の部】			
収入	手数料収入	961,350	
	使用料収入	1,223,200	
	諸収入	74,982,793	
収入の合計		77,167,343	
II.現金収支を伴わないもの			
コスト	減価償却相当額	11,156,640	
III.総括			
コストの部合計(トータルコスト)		725,513,616	
収支差額(ネットコスト)		648,346,273	

リサイクルプラザの全施設トータルコストのうち、委託費が4億7,725万円と全体の約66%を占めています。



### 3) 今後の検討の視点

#### ■ 施設に関する視点

- リサイクルプラザは、建築後約10年のため現在は特に問題ありませんが、高度な機械設備等を有しているため、長期設備維持管理計画及び機械設備保守点検の結果に基づき計画的な修繕・補修を行う必要があります。

